

2013年度の連邦研究開発費及び研究開発施設費、全体では前年度比9%減（5月14日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）傘下の米国科学工学統計センター（National Center for Science and Engineering Statistics : NCSES）は5月14日、2013年度の連邦研究開発費・研究開発施設費に関する報告書を発表した。これによると、同年度の連邦研究開発費・研究開発施設費は、前年度比9%減であることが明らかにされた。具体的には、2012年度の1,410億ドルから2013年度は1,270億ドルに減少し、内訳は、研究費4%減、開発費14%減、研究開発施設費11%減となった。なお、2014年度の連邦研究開発費・研究開発施設費は前年度比3%（40億ドル）増、2015年度は同2%（30億ドル）増と予測されている。省庁別でみた2012年度から2013年度への変化は以下の通り。

- 国防総省（Department of Defense）の研究開発費は、連邦省庁全体で支出額の約半分を占め、前年度比14%（100億ドル）減。
- 厚生省（Department of Health and Human Services）は、全体の23%を占め、前年度比6%（20億ドル）減。
- 米航空宇宙局（National Aeronautics and Space Administration : NASA）は、全体の8%を占め、前年度比3%減。
- エネルギー省（Department of Energy）は、全体の8%を占め、前年度比1%減。
- NSFは、全体の4%を占め、前年度比4%減。

なお、本報告書は、<<http://www.nsf.gov/statistics/2015/nsf15322/>>から閲覧可能。

National Science Foundation, Latest figures show decline in federal funding for R&D, equipment, facilities in FY 2013  
[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=135168&WT.mc\\_id=USNSF\\_51&WT.mc\\_ev=click](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=135168&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click)